

障害福祉サービス等処遇改善計画書(令和 2 年度)

(福祉・介護職員処遇改善計画書、福祉・介護職員等特定処遇改善計画書、福祉・介護職員等処遇改善計画書)

1 基本情報<共通>

フリガナ	イッパンシヤダンホウジンコア				
法人名	一般社団法人コア				
法人所在地	〒	175-0092			
	東京都板橋区赤塚3丁目21番9号 エクセレント101号				
フリガナ	シイバ ミキヲ				
書類作成担当者	椎葉 三紀夫				
連絡先	電話番号	03-5968-3555	FAX番号	03-5967-1337	E-mail
	darc.itabashi@gmail.com				

【本計画書で提出する加算】 ※加算名をチェックすること。

福祉・介護職員処遇改善加算(処遇改善加算)

福祉・介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)

※ 福祉・介護職員処遇改善特別加算(特別加算)を含む。

2 賃金改善計画について<共通>

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。

① 福祉・介護職員処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	
1. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
2. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
3. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
4. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
5. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
6. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
7. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
8. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
9. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
10. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
11. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
12. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
13. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
14. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
15. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
16. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
17. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
18. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
19. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
20. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
21. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
22. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
23. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
24. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
25. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
26. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
27. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
28. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
29. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
30. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
31. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
32. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
33. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
34. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
35. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
36. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
37. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
38. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
39. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
40. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
41. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
42. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
43. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
44. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
45. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
46. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
47. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
48. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
49. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
50. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
51. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
52. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
53. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
54. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
55. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
56. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
57. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
58. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
59. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
60. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
61. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
62. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
63. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
64. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
65. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
66. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
67. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
68. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
69. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
70. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
71. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
72. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
73. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
74. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
75. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
76. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
77. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
78. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
79. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
80. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
81. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
82. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
83. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
84. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
85. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
86. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
87. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
88. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
89. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
90. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
91. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
92. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
93. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
94. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
95. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
96. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
97. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
98. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
99. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000
100. 処遇改善加算(処遇改善加算)の加算額	1,000,000

都処理欄 ※何も記入しないでください

日付	R 2					
No	0	2				

(2)福祉・介護職員処遇改善加算(特定加算も併せて計画する場合)

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和 2 年度処遇改善加算の見込額	10,466,484	円
④ 賃金改善の見込額(Ⅰ-Ⅱ) (右欄の額は③欄の額を上回ること)	10,994,993	円
Ⅰ) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額) (経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の総額)	42,503,400	円
Ⅱ) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	31,508,407	円
(ア)前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額	40,103,437	円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額	7,210,517	円
(ウ)前年度の特定加算の総額(その他の職種(ウ)に支給された額を除く)	1,384,513	円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額	0	円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	

【記入上の注意】

- ④Ⅰ)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④Ⅰ)(ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」について、処遇改善加算における賃金改善対象職種はこれまでと変更は無いが、特定加算との兼ね合いにより便宜的に「経験・技能のある障害福祉人材(A)」と「他の障害福祉人材(B)」の賃金同士で比較するものとする。
- ④Ⅰ)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- ④Ⅰ)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算を取得し実施される賃金の改善見込み額は含まないこと。
- ④Ⅱ)(イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。ただし、特定加算の加算額については、その他の職種(ウ)に支給された額を除くこと。
- ④Ⅱ)(エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算及び特定加算並びに特別加算に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(3) 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

① 算定する特定加算の区分				
② 処遇改善加算の取得状況	※①、③ 別紙様式2-3のとおり、② 別紙2-2のとおり			
③ 特定加算の算定対象月				
④ 令和 2 年度特定加算の見込額(㉔)			5,720,496 円	
⑤ 賃金改善の見込額(i-ii) (右欄の額は④欄の額を上回ることを)			5,764,000 円	
Ⅰ) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)			61,500,000 円	
Ⅱ) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額2】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)			55,770,305 円	
(ア)前年度の賃金の総額			64,365,335 円	
(イ)前年度の処遇改善加算の総額			7,210,517 円	
(ウ)前年度の特定加算の総額			1,384,513 円	
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額			0 円	
⑥ 平均賃金改善額	経験・技能のある障害福祉人材(A)	他の障害福祉人材(B)	その他の職種(C)	
Ⅰ) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)(h)	34,265,163 円	30,100,172 円		
Ⅱ) 前年度の常勤換算職員数(i)	108.0 人	225.6 人		
Ⅲ) 前年度の一月当たりの常勤換算職員数(j)	9.0 人	18.8 人		
Ⅳ) 前年度のグループ毎の平均賃金額(月額)【基準額3】(h)/(i)	317,270 円	133,423 円	#DIV/0!	
Ⅴ) グループ毎の平均賃金改善額(月額)(g)/(j)/(k) ※予定している配分方法について選択すること。(いずれか1つ) ※当該年度の特定加算の見込額と前年度の一月当たりの常勤換算方法により算出した職員数から算出した一人当たり配分額(月額)。(括弧内はグループ毎に配分可能な加算総額(年額))	○ (A)のみ実施 (5,720,544 円) (5,720,544 円)			
	● (A)及び(B)を実施 (5,718,240 円) (2,808,000 円) (2,910,240 円)	12,900 円		
	○ (A)(B)(C)全て実施 (#DIV/0! 円) (#DIV/0! 円) (#DIV/0! 円) (#DIV/0! 円)	#DIV/0! 円	#DIV/0! 円	#DIV/0! 円
	○ 上記以外の方法で実施 (0 円) (0 円) (0 円) (0 円)			
	月額平均8万円の賃金改善となる者又は改善後の賃金が年額440万円となる者	人(見込)		
(「月額平均8万円の賃金改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由)				
<input type="checkbox"/> 小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。 <input type="checkbox"/> 職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。 <input checked="" type="checkbox"/> 月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。 <input type="checkbox"/> その他()				
⑦ 賃金改善実施期間(k)	令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月 (12 か月)			

【記入上の注意】

- ⑤Ⅰ)の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算による賃金改善に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- ⑤Ⅰ)の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算を取得し実施される賃金改善額を除いた額を記載すること。
- ⑤Ⅱ)(イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。
- ⑤Ⅱ)(エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算及び特定加算並びに特別加算に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。
- ⑥Ⅰ)の「前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)」には、一括申請を行う場合については、原則として、前年1月から12月までの賃金の総額を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」には、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回る職員の賃金を含まないこと。
- ⑥Ⅲ)の「前年度の一月当たりの常勤換算職員数」には、一括申請を行う場合については、原則として、本計画書を提出する前月の常勤換算方法により算出した職員数を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」については、実人数によることもできる。

(4)賃金改善を行う賃金項目及び方法

イ 福祉・介護職員処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) 変更なし

賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input type="checkbox"/> 手当(新設) <input type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input checked="" type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程) <input type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 () (賃金改善に関する規定内容)
	●通所者の生活支援業務に従事する弊社の福祉・介護職員に対して、給与規定改正後の令和2年4月分給与から(5月支給)より、基本給月額を一律1,000円を増額(年額12,000円)。●通所者生活支援業務に従事する弊社の福祉・介護職員に対して、給与規定改正後のR2年9月とR3年3月の給与支給日に7万円～15万円の賞与を2回支給する。●賞与の支給額については人事考課での評価を反映させる。
	※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期) 令和 2 年 4 月 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定)

ロ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) 変更なし

経験・技能のある障害福祉人材の考え方	【一般社団法人コア】①介護・福祉職員として勤続10年以上の資資3名、資格を有し勤続10年以上の介護・福祉職員(社会福祉士1名、精神保健福祉士2名、介護福祉士2名。世話人や生活支援員として従事)をA分類とする。①以外の介護・福祉職員をB分類とし、具体的な支給額は個々の人事考課を踏まえて決定する。
賃金改善を行う職員の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> (A)経験・技能のある障害福祉人材 <input checked="" type="checkbox"/> (B)他の障害福祉人材 <input type="checkbox"/> (C)その他の職種 (A)にチェック(✓)がない場合その理由
賃金改善を行う給与の種類	<input type="checkbox"/> 基本給 <input type="checkbox"/> 手当(新設) <input type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input checked="" type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所において賃金改善内容の根拠となる規則・規程) <input type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 () (賃金改善に関する規定内容)
	・特定処遇改善加算の新設(引き上げ幅は、年齢、資格、経験、技能、職務成績を考慮して各人ごとに決定)。●特定処遇改善加算の額を次の通りとする。「経験・技能のある障害福祉人材」、R2年9月とR3年3月の二回の賞与にて12万円～14万円を支給する。「その他の障害福祉人材」、R2年9月とR3年3月の二回の賞与にて5万円～15万円を支給する。
	※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期) 令和 2 年 4 月 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定)

ハ 各障害福祉サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く賃金改善

「(1)④(エ)」、「(2)④(エ)」又は「(3)⑤(エ)」の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載

独自の賃金改善の具体的な取組内容	
独自の賃金改善額の算定根拠	

3 キャリアパス要件について〈処遇改善加算〉

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) 変更なし

次の要件について該当するものにチェック(✓)し、必要事項を具体的に記載すること。

キャリアパス要件Ⅰ 次のイからハまでのすべての基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハイ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅱ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
イの実現のための具体的な取組内容 (該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> ①	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について下記に記載すること 年に二回の研修受講を必須としている。自立訓練事業所、就労継続支援事業所、共同生活援助事業所など、事業所ごとの職員が関連を持った研修をなるべく提供できるようにしている。研修受講後のフィードバックを行うなど、社内でのスキル向上に役立てる試みも行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> ②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について下記に記載すること 東京都公益財団による「現任障害福祉サービス等職員資格取得支援事業」交付申請の募集に沿って、社内で希望者を募っている。(今年度に交付申請の要件を満たす職員がおり、当該交付申請を活用する予定である)。
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅲ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> ①	経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> ②	資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。
	<input checked="" type="checkbox"/> ③	一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

※要件Ⅲを満たす(加算Ⅰを算定する)場合、昇給する仕組みを具体的に記載している就業規則等について、指定権者からの求めがあった場合には速やかに提出できるよう、適切に保管すること。

4 職場環境等要件について<共通>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) 変更なし

【処遇改善加算】

平成20年10月から現在までに実施した事項について、全体で必ず1つ以上にチェック(✓)すること。(ただし、記載するに当たっては、選択したキャリアパスに関する要件で求められている事項と重複する事項を記載しないこと。)

【特定加算】

平成20年10月から現在までに実施した事項について、必ず全てにチェック(✓)すること。複数の取組を行い、「資質の向上」、「労働環境・処遇の改善」及び「その他」について、それぞれ1つ以上の取組を行うこと。 ※処遇改善加算と特定加算とで、別の取組を行うことは要しない。

分類	内容
資質の向上	<input type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士等の資格取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の福祉・介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む)
	<input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="checkbox"/> 小規模事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input type="checkbox"/> キャリアパス要件に該当する事項(キャリアパス要件を満たしていない障害福祉サービス事業者に限る)
	<input type="checkbox"/> その他:
労働環境・処遇の改善	<input type="checkbox"/> 新人福祉・介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター(新人指導担当者)制度等の導入
	<input type="checkbox"/> 雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実
	<input type="checkbox"/> ICT活用(支援内容や申し送り事項の共有(事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む)による福祉・介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等)による業務省力化
	<input type="checkbox"/> 福祉・介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入
	<input type="checkbox"/> 子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備
	<input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	<input checked="" type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化
<input type="checkbox"/> 健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	
<input type="checkbox"/> その他:	
その他	<input type="checkbox"/> 障害福祉サービス等情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化
	<input type="checkbox"/> 中途採用者(他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等)に特化した人事制度の確立(勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮
	<input checked="" type="checkbox"/> 非正規職員から正規職員への転換
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の増員による業務負担の軽減
<input type="checkbox"/> その他:	

5 見える化要件について<特定加算>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) 変更なし

実施している周知方法について、チェック(✓)すること。

ホームページへの掲載	<input type="checkbox"/> 「障害福祉サービス等情報公表検索サイト」への掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載予定
	<input type="checkbox"/> 自社のホームページに掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載予定
その他の方法による掲示等	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示	/	<input type="checkbox"/> 掲載予定
	<input type="checkbox"/> その他()	/	<input type="checkbox"/> 予定

6 届出に係る根拠資料について<共通>

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
<input checked="" type="checkbox"/> 加算相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
<input checked="" type="checkbox"/> 処遇改善加算として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
<input checked="" type="checkbox"/> 加算対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表、介護福祉士登録証
<input checked="" type="checkbox"/> キャリアパス要件Ⅱの資質向上の目標及び具体的な計画を定めました。	資質向上のための計画
<input checked="" type="checkbox"/> 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
<input checked="" type="checkbox"/> 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
<input checked="" type="checkbox"/> 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※本表への虚偽記載の他、福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算並びに福祉・介護職員処遇改善特別加算の請求に関して不正があった場合は、介護給付費等の返還や事業所の指定取消となる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 2 年 3 月 31 日 法人名 一般社団法人コア
代表者 職名 代表理事

氏名 近藤 恒夫

